

平成 20 年度

高梁市 一般会計  
特別会計 決算説明資料

高 梁 市

## 目 次

1	平成20年度決算総括表	1
2	一般会計歳入款別決算額対前年度比較表	2
3	一般会計歳出款別決算額対前年度比較表	3
4	普通会計性質別歳出決算状況	4
5	普通会計款別普通建設事業の状況	5
6	普通会計一般財源の充当状況	6
7	普通会計市債の状況	7
8	市税収納実績及び負担状況	8
9	歳入歳出予算に対する過不足状況	9

## 1 平成20年度決算総括表

一般会計歳入決算額22,774,275千円から歳出決算額22,335,002千円を差引いた形式収支は439,273千円、実質収支は348,297千円となる。

(単位：円 %)

会計別	予算現額	歳入決算額		歳出決算額		繰越事業費 繰越財源	実質収支	備考
		金額	収入率	金額	執行率			
一般会計	24,280,896,668	22,774,275,401	93.8	22,335,001,850	92.0	90,976,591	348,296,960	
特別会計	13,695,123,000	12,723,944,910	92.9	13,268,847,088	96.9	1,890,000	△ 546,792,178	
国民健康保険（事業）	3,955,871,000	3,958,486,247	100.1	3,837,866,195	97.0		120,620,052	
国民健康保険（直診）	110,171,000	108,972,416	98.9	108,972,416	98.9		0	
へき地診療所	11,941,000	6,879,861	57.6	6,879,861	57.6		0	
老人保健	681,857,000	629,928,611	92.4	639,396,270	93.8		△ 9,467,659	繰上充用
後期高齢者医療	449,101,000	441,079,230	98.2	440,851,230	98.2		228,000	
介護保険（事業）	3,637,372,000	3,621,741,503	99.6	3,561,939,540	97.9		59,801,963	
介護保険（サービス）	86,501,000	86,695,933	100.2	85,200,197	98.5		1,495,736	
養護老人ホーム	264,734,000	262,246,724	99.1	257,885,053	97.4		4,361,671	
特別養護老人ホーム	249,723,000	251,281,897	100.6	236,513,389	94.7		14,768,508	
軽費老人ホーム	54,203,000	53,052,746	97.9	53,052,746	97.9		0	
住宅新築資金等貸付事業	77,782,000	7,993,863	10.3	77,780,159	100.0		△ 69,786,296	繰上充用
農業振興施設事業	36,871,000	38,059,517	103.2	33,366,738	90.5		4,692,779	
畑地かんがい事業	19,953,000	19,478,068	97.6	19,478,068	97.6		0	
簡易水道事業	1,538,213,000	1,499,506,529	97.5	1,497,616,529	97.4	1,890,000	0	
下水道事業	1,600,855,000	1,555,627,681	97.2	1,555,627,681	97.2		0	
浄化槽事業	54,342,000	53,598,078	98.6	53,598,078	98.6		0	
地域開発事業	859,264,000	123,145,739	14.3	801,462,159	93.3		△ 678,316,420	繰上充用
巨瀬財産区	3,159,000	3,160,186	100.0	735,976	23.3		2,424,210	
宇治財産区	2,475,000	2,475,829	100.0	525,323	21.2		1,950,506	
有漢財産区	735,000	534,252	72.7	99,480	13.5		434,772	
合計	37,976,019,668	35,498,220,311	93.5	35,603,848,938	93.8	92,866,591	△ 198,495,218	

## 2 一般会計歳入款別決算額対前年度比較表

一般会計歳入決算額は22,774,275千円で、前年度より518,436千円（2.3%）の増となっている。

（単位：千円 %）

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度増減率
	平成19年度	平成20年度	増 減 額	19年度	20年度	
市 税	3,968,896	3,952,940	△ 15,956	17.8	17.4	△ 0.4
地 方 譲 与 税	374,425	376,769	2,344	1.7	1.6	0.6
利 子 割 交 付 金	19,519	18,177	△ 1,342	0.1	0.1	△ 6.9
配 当 割 交 付 金	18,765	7,874	△ 10,891	0.1	0.0	△ 58.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	13,297	3,091	△ 10,206	0.1	0.0	△ 76.8
地 方 消 費 税 交 付 金	357,179	332,145	△ 25,034	1.6	1.5	△ 7.0
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	12,672	15,699	3,027	0.1	0.1	23.9
自 動 車 取 得 税 交 付 金	156,084	157,964	1,880	0.7	0.7	1.2
地 方 特 例 交 付 金	26,140	40,375	14,235	0.1	0.2	54.5
地 方 交 付 税	10,390,057	10,796,598	406,541	46.7	47.4	3.9
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	7,725	6,903	△ 822	0.0	0.0	△ 10.6
分 担 金 及 び 負 担 金	219,835	211,226	△ 8,609	1.0	0.9	△ 3.9
使 用 料 及 び 手 数 料	398,217	393,480	△ 4,737	1.8	1.7	△ 1.2
国 庫 支 出 金	1,346,113	1,492,383	146,270	6.1	6.5	10.9
県 支 出 金	1,085,891	1,234,165	148,274	4.9	5.4	13.7
財 産 収 入	76,094	94,105	18,011	0.3	0.4	23.7
寄 附 金	18,563	13,652	△ 4,911	0.1	0.1	△ 26.5
繰 入 金	832,043	516,663	△ 315,380	3.7	2.3	△ 37.9
繰 越 金	245,957	271,566	25,609	1.1	1.2	10.4
諸 収 入	322,112	242,496	△ 79,616	1.4	1.1	△ 24.7
市 債	2,366,255	2,596,004	229,749	10.6	11.4	9.7
歳 入 合 計	22,255,839	22,774,275	518,436	100.0	100.0	2.3
自 主 財 源	6,081,717	5,696,128	△ 385,589	27.3	25.0	△ 6.3
依 存 財 源	16,174,122	17,078,147	904,025	72.7	75.0	5.6

### 3 一般会計歳出款別決算額対前年度比較表

一般会計歳出決算額は22,335,002千円で、前年度より350,729千円（1.6%）の増となっている。

（単位：千円 %）

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度増減率
	平成19年度	平成20年度	増 減 額	19年度	20年度	
議 会 費	214,870	202,628	△ 12,242	1.0	0.9	△ 5.7
総 務 費	2,666,351	4,002,907	1,336,556	12.1	17.9	50.1
民 生 費	4,073,276	4,125,757	52,481	18.5	18.5	1.3
衛 生 費	2,235,439	2,052,457	△ 182,982	10.2	9.2	△ 8.2
労 働 費	59,527	58,488	△ 1,039	0.3	0.3	△ 1.7
農 林 水 産 業 費	1,545,563	1,375,380	△ 170,183	7.0	6.2	△ 11.0
商 工 費	205,448	344,481	139,033	0.9	1.5	67.7
土 木 費	2,678,201	2,249,708	△ 428,493	12.2	10.1	△ 16.0
消 防 費	792,780	750,843	△ 41,937	3.6	3.3	△ 5.3
教 育 費	2,544,014	2,304,004	△ 240,010	11.6	10.3	△ 9.4
災 害 復 旧 費	109,406	82,364	△ 27,042	0.5	0.4	△ 24.7
公 債 費	4,826,032	4,767,127	△ 58,905	22.0	21.3	△ 1.2
諸 支 出 金	33,366	18,858	△ 14,508	0.1	0.1	△ 43.5
合 計	21,984,273	22,335,002	350,729	100.0	100.0	1.6

#### 4 普通会計性質別歳出決算状況

平成20年度の性質別歳出の状況は、義務的経費10,870,098千円(48.3%)、消費的経費5,184,864千円(23.0%)、投資的経費2,920,178千円(12.9%)、その他3,549,660千円(15.8%)であり、前年度との比較では義務的経費3.3%、投資的経費17.8%の減、消費的経費13.4%、その他27.1%の増となっている。

(単位：千円 %)

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度 増減率
	平成19年度	平成20年度	増 減 額	平成19年度	平成20年度	
人 件 費	4,857,227	4,520,959	△ 336,268	21.9	20.1	△ 6.9
扶 助 費	1,533,397	1,536,444	3,047	6.9	6.8	0.2
公 債 費	4,851,976	4,812,695	△ 39,281	21.9	21.4	△ 0.8
義務的経費計	11,242,600	10,870,098	△ 372,502	50.7	48.3	△ 3.3
物 件 費	2,418,894	2,407,979	△ 10,915	10.9	10.7	△ 0.5
維持補修費	75,710	90,542	14,832	0.3	0.4	19.6
補助費等	2,077,865	2,686,343	608,478	9.4	11.9	29.3
消費的経費計	4,572,469	5,184,864	612,395	20.6	23.0	13.4
普通建設事業費	3,437,241	2,827,315	△ 609,926	15.5	12.5	△ 17.7
補 助	1,140,440	1,404,084	263,644	5.1	6.2	23.1
単 独	2,296,801	1,423,231	△ 873,570	10.4	6.3	△ 38.0
災害復旧費	116,984	92,863	△ 24,121	0.5	0.4	△ 20.6
投資的経費計	3,554,225	2,920,178	△ 634,047	16.0	12.9	△ 17.8
積 立 金	254,337	1,579,863	1,325,526	1.2	7.0	521.2
投資出資貸付金	99,183	66,686	△ 32,497	0.5	0.3	△ 32.8
繰 出 金	2,439,737	1,903,111	△ 536,626	11.0	8.5	△ 22.0
そ の 他 計	2,793,257	3,549,660	756,403	12.7	15.8	27.1
歳 出 合 計	22,162,551	22,524,800	362,249	100.0	100.0	1.6

## 5 普通会計款別普通建設事業の状況

普通建設事業における補助事業費は、1,404,084千円、単独事業費は、1,423,231千円、全体で2,827,315千円となり、前年度との比較では609,926千円（17.7%）の減額となった。

(単位：千円)

区 分	平成 19 年 度			平成 20 年 度		
	補助事業	単独事業	計	補助事業	単独事業	計
総 務 費		34,960	34,960		74,271	74,271
民 生 費	11,378	86,265	97,643	15,000	87,848	102,848
衛 生 費	46,827	207,787	254,614	37,463	24,109	61,572
農 林 水 産 業 費	142,604	406,032	548,636	139,394	283,704	423,098
商 工 費		5,178	5,178	12,999	24,149	37,148
土 木 費	682,889	962,207	1,645,096	831,540	630,630	1,462,170
消 防 費		136,881	136,881	28,937	100,008	128,945
教 育 費	256,742	457,491	714,233	338,751	198,512	537,263
そ の 他			0			0
合 計	1,140,440	2,296,801	3,437,241	1,404,084	1,423,231	2,827,315

## 6 普通会計一般財源の充当状況

一般財源充当状況の構成比は、義務的経費55.6%、投資的経費5.7%、消費的経費24.9%、その他13.8%となっており、前年度との比較では総額で16,728千円（0.1%）の減額となっている。

(単位：千円 %)

区 分	平成 19 年 度		平成 20 年 度		対前年度 増減率
	充 当 額	構 成 比	充 当 額	構 成 比	
義務的経費	9,698,034	57.7	9,329,480	55.6	△ 3.8
人件費	4,439,286	26.4	4,108,582	24.5	△ 7.4
扶助費	536,338	3.2	543,478	3.2	1.3
公債費	4,722,410	28.1	4,677,420	27.9	△ 1.0
投資的経費	978,134	5.8	954,157	5.7	△ 2.5
普通建設事業費	953,017	5.7	915,777	5.5	△ 3.9
災害復旧事業費	25,117	0.1	38,380	0.2	52.8
消費的経費	3,612,159	21.5	4,178,123	24.9	15.7
そ の 他	2,501,649	15.0	2,311,488	13.8	△ 7.6
合 計	16,789,976	100.0	16,773,248	100.0	△ 0.1



## 7 普通会計市債の状況

前年度末の現在額は、36,493,636千円となっており、平成20年度の借入額が2,601,704千円、元金償還額が4,161,397千円で、差引現在額34,933,943千円となっている。また、このうち借入先の内訳は、政府資金21,455,885千円、公庫等の資金13,478,058千円となっている。

(単位：千円)

区 分	19年度末 現在額	20年度 発行額	平成20年度元利償還額			20年度末 差引現在額	借 入 先	
			元 金	利 子	計		政 府	そ の 他
一 般 公 共 事 業	1,118,905	18,800	170,066	17,392	187,458	967,639	966,239	1,400
一 般 単 独 事 業	12,365,995	1,325,700	1,716,273	244,249	1,960,522	11,975,422	1,997,256	9,978,166
公営住宅建設事業	1,630,246	45,800	170,758	45,718	216,476	1,505,288	1,133,756	371,532
義務教育施設事業	1,457,755	4,500	162,491	37,776	200,267	1,299,764	1,193,643	106,121
辺地対策事業	1,130,731	99,900	188,193	12,856	201,049	1,042,438	1,042,438	0
災害復旧事業	426,164	18,200	81,192	5,331	86,523	363,172	363,172	0
単 独 災 害	146,033	5,800	31,322	1,776	33,098	120,511	120,511	0
補 助 災 害	280,131	12,400	49,870	3,555	53,425	242,661	242,661	0
過疎対策事業	7,633,054	507,600	1,064,579	103,178	1,167,757	7,076,075	7,074,295	1,780
財源対策債	1,503,131	3,500	111,731	25,749	137,480	1,394,900	380,605	1,014,295
臨時財政対策債	5,309,346	571,404	213,389	71,805	285,194	5,667,361	5,242,265	425,096
そ の 他	3,918,309	6,300	282,725	79,257	361,982	3,641,884	2,062,216	1,579,668
合 計	36,493,636	2,601,704	4,161,397	643,311	4,804,708	34,933,943	21,455,885	13,478,058

## 8 市税収納実績及び負担状況

平成20年度市税収入額は、前年度と比較し15,956千円(0.4%)の減となっている。また、市税の税目別負担状況は、前年度との比較で1人当たり1,508円(1.4%)の増、1世帯当たり492円(0.2%)の減となっている。

(単位：千円 %)

区 分	調定額			収入額			収納率			前年度比(収入額)		
	18年度	19年度	20年度	18年度	19年度	20年度	18年度	19年度	20年度	18年度	19年度	20年度
市 民 税	1,465,053	1,793,529	1,759,649	1,404,687	1,721,651	1,686,348	95.9	96.0	95.8	6.2	22.6	△2.1
固 定 資 産 税	1,989,848	1,945,886	1,976,346	1,840,564	1,840,000	1,877,326	92.5	94.6	95.0	△2.3	0.0	2.0
軽自動車税	100,394	101,774	102,007	92,618	93,995	93,922	92.3	92.4	92.1	1.9	1.5	△0.1
たばこ税	191,740	188,566	172,932	191,725	188,551	172,917	100.0	100.0	100.0	0.9	△1.7	△8.3
鋳産税	245	170	133	245	170	133	100.0	100.0	100.0	27.6	△30.6	△21.8
特別土地保有税	12	10	10	2	0	0	16.7	0.0	0.0	-	△100.0	-
都市計画税	136,146	132,295	133,242	124,777	124,529	122,294	91.6	94.1	91.8	△6.3	△0.2	△1.8
合 計	3,883,438	4,162,230	4,144,319	3,654,618	3,968,896	3,952,940	94.1	95.4	95.4	1.0	8.6	△0.4

(単位：円 %)

区 分	18年度		19年度		20年度		対前年度増減率					
	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり			1世帯当たり		
	(36,367人)	(13,905世帯)	(35,786人)	(13,888世帯)	(35,164人)	(13,856世帯)	18年度	19年度	20年度	18年度	19年度	20年度
市 民 税	38,625	101,020	48,109	123,967	47,956	121,705	8.1	24.6	△0.3	6.5	22.7	△1.8
固 定 資 産 税	50,611	132,367	51,417	132,488	53,388	135,488	△0.5	1.6	3.8	△2.0	0.1	2.3
軽自動車税	2,547	6,661	2,626	6,768	2,671	6,778	3.7	3.1	1.7	2.2	1.6	0.1
たばこ税	5,272	13,788	5,269	13,577	4,917	12,480	2.7	△0.1	△6.7	1.2	△1.5	△8.1
鋳産税	7	18	5	12	4	10	40.0	△28.6	△20.0	28.6	△33.3	△16.7
特別土地保有税	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
都市計画税	3,431	8,974	3,480	8,967	3,478	8,826	△4.7	1.4	△0.1	△6.1	△0.1	△1.6
合 計	100,493	262,828	110,906	285,779	112,414	285,287	2.7	10.4	1.4	1.3	8.7	△0.2

( )内は年度末人口、世帯数を示す

## 9 歳入歳出予算に対する過不足状況

### 一般会計

(歳入)

(目・100万円以上 単位:千円)

款	項	目	過不足額	理 由
市 税	市 民 税	個 人	△ 7,877	3月退職者が見込みを下回ったため
		法 人	4,577	3月分の法人税割が見込みを上回ったため
	固 定 資 産 税	固 定 資 産 税	9,793	収納実績が見込みを上回ったため
		都 市 計 画 税	△ 2,906	収納実績が見込みを下回ったため
地 方 譲 与 税	自 動 車 重 量 譲 与 税	自 動 車 重 量 譲 与 税	33,142	譲与税の確定による
	地 方 道 路 譲 与 税	地 方 道 路 譲 与 税	1,627	譲与税の確定による
利 子 割 交 付 金	利 子 割 交 付 金	利 子 割 交 付 金	△ 6,823	交付金の確定による
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	△ 4,960	交付金の確定による
地 方 消 費 税 交 付 金	地 方 消 費 税 交 付 金	地 方 消 費 税 交 付 金	△ 13,855	交付金の確定による
自 動 車 取 得 税 交 付 金	自 動 車 取 得 税 交 付 金	自 動 車 取 得 税 交 付 金	11,564	交付金の確定による
地 方 交 付 税	地 方 交 付 税	地 方 交 付 税	52,453	特別交付税の確定による
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	△ 1,097	交付金の確定による
分 担 金 及 び 負 担 金	負 担 金	民 生 費 負 担 金	△ 10,232	公立、私立とも保育園の入所児童数が見込みを下回ったため
使 用 料 及 び 手 数 料	使 用 料	土 木 使 用 料	9,818	現年度分で収入が見込みを上回ったため
		教 育 使 用 料	△ 1,286	キャンセル等により施設使用料が見込みを下回ったため
		民 生 費 国 庫 負 担 金	△ 6,334	私立保育所の入所児童数が見込みを下回ったため
国 庫 支 出 金	国 庫 補 助 金	総 務 費 国 庫 補 助 金	△ 1,064,045	繰越措置による
		民 生 費 国 庫 補 助 金	△ 14,831	子育て応援手当交付金の繰越措置による
		土 木 費 国 庫 補 助 金	△ 134,441	繰越措置による
		教 育 費 国 庫 補 助 金	△ 43,848	繰越措置による
県 支 出 金	県 補 助 金	民 生 費 県 負 担 金	△ 2,375	私立保育園への入所児童数が見込みを下回ったため
		民 生 費 県 補 助 金	△ 2,206	心身障害者医療扶助費及び住宅改造補助金が見込みを下回ったため
県 支 出 金	県 補 助 金	衛 生 費 県 補 助 金	△ 2,909	妊婦健康診査臨時特例事業の申請者が見込みを下回ったため
		農 林 水 産 業 費 県 補 助 金	△ 8,366	林道開設事業の繰越措置による
		商 工 費 県 補 助 金	2,040	事業調整費補助金の確定による
財 産 収 入 金	財 産 運 用 収 入 金	財 産 貸 付 収 入 金	1,520	一時貸付の増加等、賃借料の増による
繰 入 金	特 別 会 計 繰 入 金	特 別 会 計 繰 入 金	△ 6,211	老人保健特別会計の次年度過誤調整予定が、本年度の交付金等で相殺する とした制度の変更により、繰入金が減となったもの
		基 金 繰 入 金	△ 4,106	福祉基金事業及び地域振興基金事業について事業費の減額があったため
諸 収 入	預 金 利 子 入	預 金 利 子 入	1,362	効率的な資金運用に努めたため
		雑 入	3,423	岡山県後期高齢者医療広域連合派遣職員負担金等が見込みを上回ったため
市 債	市 債	総 務 債	△ 12,000	繰越措置による
		土 木 債	△ 97,700	繰越措置による
		教 育 債	△ 13,800	繰越措置による
		過 疎 対 策 債	△ 14,300	繰越措置による
		合 併 特 例 債	△ 163,200	繰越措置による

( 歳 出 )

款	項	目	不用額	理 由
議 会 費 議 務 費	議 会 管 理 費	議 会 費	2,370	政務調査費の返納分及び議長交際費の使途基準の見直しによる減
		一 般 管 理 費	7,106	給与費が見込みを下回ったため
		財 産 管 理 費	3,222	機構改革に伴うLAN移設費用及び庁舎等維持管理費の縮減を図ったため
		企 画 費	3,881	事務の見直し等による事務費等の経費節減と適正執行に努めたため
		地 域 局 費	2,393	庁舎の経費削減に努めたことに加え、庁舎修繕等の経費も抑制したため
		地 域 振 興 費	2,919	地域振興交付金事業について事業費に減額があったため
		学 園 文 化 都 市 づ くり 事 業 費	1,887	学生宿舎整備促進事業補助金について、交付要件を満たしていないなどの案件が生じたため
		諸 費	3,198	生活福祉バスの運行委託料が見込みを下回ったため
		徴 税 費	1,376	事務改善等により超過勤務手当の節減に努めたこと及び納税貯蓄組合補助金が見込みを下回ったため
		賦 課 徴 収 費	1,197	臨時賃金の節減と需用費及び役務費の節減に努めたため
民 生 費	社 会 福 祉 費	社 会 福 祉 総 務 費	21,186	障害福祉サービスの利用が見込みを下回ったため
		老 人 福 祉 費	22,957	老人保健特別会計繰出金が見込みを下回ったことによる減及び後期高齢者医療制度円滑導入事業に係る国庫の補助金返還が翌年度に変更等されたため
		介 護 保 険 総 務 費	21,093	介護給付費・地域支援事業費・介護予防計画事業費が見込みを下回ったことにより繰出金が減となったもの
	児 童 福 祉 費	児 童 福 祉 総 務 費	2,893	直営の学童保育の臨時賃金および委託している学童保育の委託料が見込みを下回ったため
		児 童 福 祉 施 設 費	15,251	私立保育園の入所児童数が見込みを下回ったことにより私立保育園への委託料が下がったことに加え、各公立保育園の経常的な経費に少額の不用額が生じたため
	生 活 保 護 費	扶 助 費	35,061	生活保護扶助費の医療扶助が、見込みを下回ったため
衛 生 費	保 健 衛 生 費	保 健 衛 生 総 務 費	37,150	簡易水道事業特別会計繰出金の減及び乳幼児医療扶助費が見込みを下回ったため
		予 防 費	1,121	事務の見直し等による事務費等の経費節減と適正執行に努めたため
		環 境 衛 生 費	1,434	斎場での燃料費が見込みを下回ったこと等による
		診 療 所 費	1,353	事務費等の経費節減及びへき地診療所特別会計の医業費が見込みより下回ったことにより繰出金が減となったもの
	清 掃 費	清 掃 総 務 費	1,117	人件費が見込みを下回ったこと、需要費の節約に努めたため
		し 尿 処 理 費	2,538	し尿処理量が見込みを下回り委託料が減額したこと、予定していた合併処理浄化槽の補助金申請の取り下げがあったこと等による
	農 林 水 産 業 費	農 業 費	農 業 振 興 費	2,759
農 地 費			1,198	凍結防止剤の使用が少なかったこと及びほ場整備事業補助金が見込みを下回ったため
林 業 費		林 業 総 務 費	1,494	超過勤務手当が見込みより少なかったこと及び捕獲柵の申請が見込みを下回ったため
		林 業 振 興 費	1,800	修繕原材料の使用が見込みを下回ったこと及び林道用地について寄附登記が出来なかったため

款	項	目	不用額	理 由	
商 工 費	商 工 費	観 光 費	5,708	観光施設等で光熱水費の節約に努めたことと、工事請負費が見込みを下回ったため	
土 木 費	道 路 橋 梁 費	道 路 維 持 費	2,549	当初予定していた凍結防止剤購入が暖冬により必要なかったため	
	都 市 計 画 費	都 市 計 画 総 務 費	1,262	超過勤務が見込みより少なかったこと及び給料を補助事業に振り替えたことによる	
		下 水 道 費	8,990	経費節減などにより、一般会計からの繰出金が見込みを下回ったため	
消 防 費	消 防 費	住 宅 費	2,360	住宅改修工事が低価で執行できたため	
		常 備 消 防 費	2,710	火災等災害出動の減少により、超過勤務手当等が見込みを下回ったため	
		非 常 備 消 防 費	5,649	火災・水防等災害出動の減少により、出動報償費等が見込みを下回ったため	
教 育 費	消 防 費	消 防 施 設 費	1,544	消火栓の負担金が見込みを下回ったことに加え、工事請負費を低価で執行出来たため	
		教 育 総 務 費	事 務 局 費	2,319	需用費の節約に努めたことに加え、教員住宅修繕等の件数が見込みを下回ったため
		小 学 校 費	学 校 管 理 費	6,101	全小学校において燃料費等の節約に努めたことに加え、予定していた事務機器のリース更新が再リースで対応できたため
	教 育 振 興 費		2,118	備品消耗品の購入費を節約し、修繕費も見込みより抑えられたため	
	中 学 校 費	学 校 管 理 費	3,439	全中学校において燃料費等の節約に努めたことに加え、予定していた事務機器のリース更新が再リースで対応できたため	
		教 育 振 興 費	1,238	備品消耗品の購入費を節約し、修繕費も見込みより抑えられたため	
	幼 稚 園 費	幼 稚 園 費	2,424	全幼稚園において燃料費等の節約に努めたことに加え、臨時助教諭の長期休業期間の業務が少なかったことにより賃金が見込みを下回ったため	
	社 会 教 育 費	社 会 教 育 総 務 費	5,041	青少年研修センター本館の休止に伴い、臨時賃金・光熱水費等が見込みを下回ったことと、近代高梁人物記念館(仮称)整備検討委員会経費などが見込みを下回ったため	
		公 民 館 費	1,760	各公民館において、光熱水費や通信運搬費の節約に努めるとともに、公民館運営審議会委員報酬、講師謝礼などが見込みを下回ったため	
		文 化 セ ン タ ー 費	1,153	施設管理運営費の燃料費等が見込みを下回ったため	
保 健 体 育 費	体 育 施 設 費	2,285	体育施設(14施設)における光熱水費、修繕料、委託料等管理費が見込みを下回ったことと、施設整備工事費が低価で執行できたため		
	学 校 給 食 費	1,577	各センターが、燃料費や光熱費について節約に努めたため		
公 債 費	公 債 費	利 子	4,062	効率的な資金運用に努めたため	

高梁市国民健康保険特別会計(事業勘定)  
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
国 民 健 康 保 険 税	国 民 健 康 保 険 税	一 般 被 保 険 者 国 民 健 康 保 険 税	△ 2,934	見込みを収納額が下回ったため
		退 職 被 保 険 者 等 国 民 健 康 保 険 税	10,309	退職被保険者の増により収納額が見込みを上回ったため
国 庫 支 出 金	国 庫 負 担 金	療 養 給 付 費 等 負 担 金	△ 22,762	一般被保険者の医療費が見込みを下回ったため

款	項	目	過不足額	理 由
国庫支出金	国庫補助金	財政調整交付金	62,980	普通調整交付金の調整対象収入額の不足による増額交付等が見込みを上回ったため
療養給付費等交付金	療養給付費等交付金	療養給付費等交付金	10,172	退職被保険者に係る交付金が見込みを上回ったため
県支出金	県補助金	財政調整交付金	△ 9,397	一般被保険者の医療費が見込みを下回ったため
共同事業交付金	共同事業交付金	高額医療費共同事業交付金	6,128	80万円を超える高額医療費の発生が見込みを上回ったため
		保険財政共同安定化事業交付金	29,441	30万円から80万円の医療費が見込みを上回ったため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 1,885	出産育児費が見込みを下回り出産育児費等に係る繰入金が減となったため
	基金繰入金	財政調整基金繰入金	△ 77,449	医療費が見込みより減となったことに加え、調整交付金等の歳入が増となったことにより繰入れをする必要がなくなったため
諸収入	貸付金元利収入	高額療養費貸付金元利収入	△ 1,205	高額医療費貸付金の利用者が見込みを下回ったため

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
総務費	総務管理費	一般管理費	1,242	電算委託料等の事務費が見込みを下回ったため
	徴税費	納税奨励費	1,411	納税組合補助金、口座振替手数料、事務費等が見込みを下回ったため
保険給付費	療養諸費	一般被保険者療養給付費	37,323	一般被保険者の医療費が見込みを下回ったため
	高額療養費	一般被保険者高額療養費	4,043	一般被保険者の医療費(高額該当)が見込みを下回ったため
	出産育児諸費	出産育児一時金	2,190	国保被保険者の出産件数が見込みを下回ったため
保健事業費	保健事業費	疾病予防費	1,391	特定健康診査の受診者が見込みを下回ったため
	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業費	3,798	人間ドック受診者及びレセプト点検委託料等が見込みを下回ったため
諸支出金	貸付金	高額療養費貸付金	2,000	高額医療費貸付金の利用がなかったため

高梁市へき地診療所特別会計

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 5,448	備中診療所の往診、患者輸送車購入に係る財源の繰越のため

高梁市老人保健特別会計

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
支払基金交付金	支払基金交付金	医療費交付金	△ 8,449	医療諸費が見込みを下回り交付金が減となったため
国庫支出金	国庫負担金	医療費国庫負担金	△ 28,552	医療諸費が見込みを下回り負担金が減となったため
県支出金	県負担金	医療費県負担金	△ 4,871	医療諸費が見込みを下回り負担金減となったため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 5,748	医療諸費が見込みを下回ったため
諸収入	雑収入	雑収入	△ 4,341	過誤調整分精算金が見込みを下回ったため

( 歳 出 )

款	項	目	不用額	理 由
医 療 諸 費	医 療 諸 費	医 療 給 付 費	34,263	医療給付費が見込みを下回ったため
		医 療 費 支 給 費	1,322	療養費等の医療費支給費が見込みを下回ったため
諸 支 出 金	繰 出 金	一 般 会 計 繰 出 金	6,000	老人保健特別会計の次年度過誤調整予定が、本年度の交付金等で相殺する とした制度の変更により、未執行となったため

高梁市後期高齢者医療特別会計

( 歳 入 )

款	項	目	過不足額	理 由
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	△ 2,729	収納額が見込みより下回ったため
国 庫 支 出 金	国 庫 補 助 金	国 庫 補 助 金	△ 4,830	後期高齢者医療制度円滑導入運営事業補助金の繰越のため

( 歳 出 )

款	項	目	不用額	理 由
後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	2,948	後期高齢者医療保険料が見込みを下回ったため

高梁市介護保険特別会計(事業勘定)

( 歳 入 )

款	項	目	過不足額	理 由
支 払 基 金 交 付 金	支 払 基 金 交 付 金	地 域 支 援 事 業 支 援 交 付 金	3,631	年度当初の計画により交付金の算定交付がされたため増となった
繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	△ 21,844	認定審査会等事務費・介護給付費・地域支援事業費が見込みを下回ったため
諸 収 入	雑 収 入	返 納 金	2,623	3月に介護給付費の不正請求に伴う返還金等が発生したため

( 歳 出 )

款	項	目	不用額	理 由
総 務 費	総 務 管 理 費	一 般 管 理 費	3,691	認定申請件数が見込みを下回り、認定調査、主治医意見書料等が減となったため
介 護 認 定 費	介 護 認 定 審 査 費	介 護 認 定 審 査 費	1,622	認定申請件数が見込みを下回り、審査会回数が減となったため
保 険 給 付 費	介 護 サ ー ビ ス 等 諸 費	居 宅 介 護 サ ー ビ ス 給 付 費	25,970	居宅サービス利用が見込みを下回ったため
		施 設 介 護 サ ー ビ ス 給 付 費	11,036	老人保健施設・介護療養型等の施設サービスの利用が見込みを下回ったため
		居 宅 介 護 福 祉 用 具 購 入 費	1,071	福祉用具購入の件数が見込みを下回ったため
		居 宅 介 護 住 宅 改 修 費	2,166	居宅介護住宅改修の件数が見込みを下回ったため
		居 宅 介 護 サ ー ビ ス 計 画 給 付 費	1,495	居宅介護支援件数が見込みを下回ったため
		地 域 密 着 型 介 護 サ ー ビ ス 給 付 費	6,851	認知症対応通所介護・小規模多機能型介護などの利用が見込みを下回ったため
	介 護 予 防 サ ー ビ ス 等 諸 費	介 護 予 防 サ ー ビ ス 給 付 費	6,567	介護予防サービスの利用が見込みを下回ったため
		介 護 予 防 住 宅 改 修 費	1,217	介護予防住宅改修の件数が見込を下回ったため

款	項	目	不用額	理由
保険給付費	高額介護サービス等費	高額介護サービス費	1,163	高額介護サービスの件数が見込みを下回ったため
	特定入所者介護サービス等費	特定入所者介護サービス費	1,231	特定入所者介護(食費・居住費軽減給付)が見込みを下回ったため
地域支援事業費	介護予防事業費	一般施策事業費	1,136	指定管理委託の実績が見込みを下回ったため
	包括的支援等事業費	介護予防ケアマネジメント事業費	1,119	実態把握件数が見込みを下回ったため

#### 高梁市介護保険特別会計(サービス勘定)

(歳入)

款	項	目	過不足額	理由
サービス収入	介護給付費収入	居宅介護サービス費収入	1,193	居宅介護サービスの利用実績が見込みを上回ったため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 4,167	居宅介護サービス等の収入が、見込みを上回ったため及び介護予防プラン作成委託件数等が、見込みを下回ったため
繰越金	繰越金	繰越金	2,782	繰越金増のため

(歳出)

款	項	目	不用額	理由
サービス事業費	介護予防支援事業費	介護予防支援事業費	1,042	介護予防プラン作成委託件数が見込みを下回ったため

#### 高梁市養護老人ホーム特別会計

(歳入)

款	項	目	過不足額	理由
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 2,502	扶助費及び人件費等の支出減による繰入金の減

(歳出)

款	項	目	不用額	理由
総務費	総務管理費	施設管理費	1,704	人件費等の支出減による
施設費	社会福祉施設費	社会福祉施設費	5,043	事務費委託金の増を本科目へ充当し入所者への待遇改善を図ったが、生活用品等の需要が少なく、不用となったため

#### 高梁市特別養護老人ホーム特別会計

(歳出)

款	項	目	不用額	理由
総務費	総務管理費	一般管理費	2,759	人件費及び施設修繕工事費等の支出の減による
サービス事業費	施設介護サービス事業費	施設介護サービス事業費	3,324	介護用品、修繕料、給食材料費等の支出減による
	居宅サービス事業費	通所介護サービス事業費	1,123	介護用品、燃料費、光熱水費、修繕費等の支出減による

#### 高梁市軽費老人ホーム特別会計

(歳入)



款	項	目	過不足額	理 由
繰入	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 1,216	人件費及び需用費等の支出減による繰入金の減

高梁市住宅新築資金等貸付事業特別会計  
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
諸収	貸付金元利収入	貸付金元利収入	△ 69,787	現年及び過年度の償還金について、未納があったため

高梁市農業振興施設事業特別会計  
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
事業収	事業収	事業収	1,621	氷温瀬戸ジャイアンの市場出荷において、販売単価が上がり収入増となったため

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
管理運営費	モデル農場運営費 新規作物ブランド化 整備促進費	モデル農場運営費	1,238	臨時職員の冬季労働時間が少なかったことにより、賃金が減少したため
		新規作物ブランド化 整備促進費	2,208	氷温貯蔵庫工事費入札残額が生じたため、及び空調設備の設置を取りやめたため

高梁市簡易水道事業特別会計  
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
使用料及び手数料	使用料	衛生使用料	4,134	簡易水道使用料の増による
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 36,135	簡易水道使用料の増及び歳出費目の簡易水道施設費等の減による
諸収	受託事業収入	衛生費受託事業収入	△ 2,433	給水取出工事減による受託工事収入の減
市債	市債	簡易水道新設改良事業債	△ 3,000	新設改良工事費減による市債の減

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
衛生費	簡易水道費	簡易水道総務費	1,489	職員手当、メーター検針委託料等の減による
		簡易水道施設費	12,568	給水取出工事費、配水管移設工事費等の減による
		簡易水道新設改良事業費	9,648	成羽簡水、吹屋簡水及び中央監視装置構築事業の工事費等の減による

高梁市下水道事業特別会計  
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
使用料及び手数料	使用料	下水道使用料	3,641	下水道使用料の増による
国庫支出金	国庫補助金	公共下水道事業費 国庫補助金	△ 21,900	繰越措置による
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 8,990	経費節減などにより、一般会計からの繰入金が見込みを下回ったため

款	項	目	過不足額	理 由
市 債	市 債	下 水 道 事 業 債	△ 18,300	繰越措置による

( 歳 出 )

款	項	目	不用額	理 由
公 共 下 水 道 事 業 費	施 設 管 理 費	ポ ン プ 場 管 理 費	1,669	施設の維持修繕費が見込みを下回ったため
		処 理 場 管 理 費	1,139	薬品等の消耗品が見込みを下回ったため

高梁市地域開発事業特別会計

( 歳 入 )

款	項	目	過不足額	理 由
財 産 収 入	財 産 売 払 収 入	不 動 産 売 払 収 入	△ 736,104	土地の売払いができなかったことによる

( 歳 出 )

款	項	目	不用額	理 由
宅 地 造 成 事 業 費	造 成 事 業 費	造 成 事 業 費	53,146	古町西分譲宅地造成事業(繰越明許)を中止したことによる
工 業 団 地 造 成 事 業 費	造 成 事 業 費	造 成 事 業 費	4,655	工事請負費及び公有財産購入費が見込みを下回ったため

高梁市巨瀬財産区特別会計

( 歳 出 )

款	項	目	不用額	理 由
財 産 費	財 産 費	財 産 管 理 費	1,472	施設修繕等の必要がなかったため